



# 学校だより

12月号 (第185号)  
令和4年11月30日発行  
横浜市立並木中央小学校



## 2つの会議から

校長 齋藤 由美子

「清潔にすることや、けがの防止は、自分で気を付けようとしたらできることです。人に対する言葉かけや心づかいについては、きちんとできているかは、自分でも気づかないことがあります。だから、『言葉・心』をテーマにしたいです。」

「僕は人から言われると気にするタイプです。だから、僕も人に対して変な言い方をしていないかを、『言葉・心』をテーマにして考えていきたいです。」

これは、11/24の児童代表委員会の中で出された高学年の子どもたちの発言の一部です。学校全校で「体づくり」や「心づくり」について取り組んでいこうという学校保健委員会のテーマ決めの場面です。出されたテーマの候補は3つ。「けが(の防止)」「清潔」「言葉・心」でした。それらを1つに絞るために、「自分の生活を見直しながら考えてみましょう。」と、教師が考えるポイントを示しました。すると、冒頭のような自分事の考えが、次々と出てきました。自分事に引き寄せながら思考し、自分の言葉で表現する姿がキラキラ光っていました。次に大切なのは、言葉で表したことを実行すること。子どもたちが主体性をもって自分自身の行動を変容させていくことを、応援したいと思います。

また、同日には「スクールミーティング」が開かれました。そこでは、教育長や教育委員の方々と、本校の学力の伸びや、本校が大切にしている「言葉の力」・教員の国語の研究・保護者、地域との連携・特別支援教育・教員の働き方改革等について意見交換をしました。教育委員の方からは、教職員の真摯な取組の積み重ねが、子どもたちの姿に表れていること、保護者や地域の方々の協力体制が素晴らしいこと、学区にある教材を、さらに学習に活かすと良いこと、また、教職員が熱心に夜遅くまで仕事をするということについて心配のお言葉もいただきました。

今後も、言葉の力を大切にしながら、子ども・教職員それぞれが主体性をもち、「学んでよかった!」「成長している!」「楽しい!」を実感できる並木中央小をめざしていきたいと思っています。